

平成 16 年度「特色ある大学教育支援プログラム」

採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	群馬大学	整理番号	1-2-007
応募テーマ	主として教育課程の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	良医養成のための体験的・実践的専門前教育		
申請単位	学部単位		
申請担当者	石川 治		
<p>(取組の概要)</p> <p>本医学科では、倫理観に裏打ちされた技能・知識・態度を兼備した医師の養成を目指している。専門前教育の段階から、医学生としての社会的責務を感得させると共に、継続的な学習意欲を涵養するための少人数グループ制カリキュラムを整備し、平成 14 年度から実施した。入学当初より、医学・医療概論実習として一年間、週一回、医学部附属病院において、各診療部門スタッフの指導下に患者さんとの対話・介助の実践などを通じて将来の医療従事者としての意識を高めている。同時に、医学・哲学の専門教育を受けた専任教授による討論形式の医の倫理学講義・実習を通じて、医師としての倫理観を確立する。2 年次にはチーム医療実習として 1 ヶ月間、学外の老人介護施設で集中的に体験実習を行い、社会性とコミュニケーション能力を獲得する。2 年後期の医学論文作成チュートリアルでは、論文作成作業を通じて文書作成能力や情報検索能力を修得する。並行して行う生命医学講義（細胞生物学）は全てユニット別の集中講義形式とし、講義直後に試験を実施して、不断の講義出席と継続的かつ能動的学習を促している。これらのカリキュラムにより、学生の医療に対する意識改革と講義の出席率や試験成績の大幅な上昇を得る事が出来た。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、群馬大学医学部医学科の教育目標である「高い倫理観、医学知識と臨床能力、問題解決能力と自己学習習慣を身につけた良医の養成」のために、専門教育（3 年次から）に入る前に入念な体験的・実践的教育を平成 14 年 4 月に開始し、成果を上げています。</p> <p>この取組は、1 年生の入学当初から週に半日の授業時間をとって「病院体験学習・医の倫理に関する講義と討論」にあて、2 年生には「介護などの 4 週間集中体験実習、さらに週 3 日の午後いっぱいの研究体験と論文作成チュートリアル」を行っています。現在、医学教育はとくに専門教育を中心にカリキュラム、教育方法等が基準化され、全国的に同様の改革が大きく進んでいる中で、それ以前の教育を重視し、多くの授業時間をとって、互いに連続性のあるしっかりしたカリキュラム設計、きめ細かな指導をしていることに特色があり、これを支える教員の研修（FD）、体制もしっかりしていて、他大学の参考になる優れた事例です。さらに専門教育と連続しての効果을期待し、成果の検証も待たれます。</p>			